

科目区分	専門教育科目	科目名	解剖生理学実習	科目コード	20302	担当者	井上靖久
対象学生	栄養士コース2年生	学期区分	前期	単位数	1	卒業要件	選択
						免許・資格要件	栄養士免許必修
科目の主題						成績評価の方法と割合	
人体の構造と機能の基礎を理解し、両者が関連してヒトの生命活動を保証していることを実感する。						提出物 (90%) 口頭発表 (10%)	
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標	
						誠実な人柄と人間力 (尽心)	高度な知性と創造力 (創造)
1.	解剖生理学の講義で学んだことを実習の中で、自分自身の「人体」に照らして実感する。					○	○
2.	人体はその時々々の環境の変化に対応して変化・適応していることを理解する。						○
3.	実験・実習の結果を理解して、論理的に説明できる。						○
授業方法							
3グループに分けて、同時並行的に行うので、説明は3回まとめて行う。毎回、前回のレポートを提出する。最後にワークショップ形式の口頭発表を全員で行う。							
準備学修 (予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)							
3回分の説明を行うので、その週の実習内容を必ず事前に把握しておく。前回のレポートの提出にあわせて重要事項を質問するので、必ず復習しておく。							
授業計画							
第1回	全体の説明、神経・解剖系の概説						
第2回	3～5回の説明						
第3回	組織標本観察						
第4回	人体の形態計測、人体解剖ビデオ観察						
第5回	骨格標本、内臓標本観察						
第6回	7～9回の説明						
第7回	心拍数・心音・心電図						
第8回	呼吸機能						
第9回	血圧						
第10回	11～13回の説明						
第11回	体温						
第12回	発汗						
第13回	細胞観察						
第14回	ワークショップの準備						
第15回	ワークショップ						
教科書・参考書				受講生へのメッセージ			
「人体の構造と機能①解剖生理学」 ナーシンググラフィカ最新版 メディカ出版				健康や疾患について日常的に、論理的に考える習慣をつけることを目指してください。			